

ブレインストーミング・第3回ワーキング(7/8(月))を踏まえた今後の活動 ⇒ 魅力アップ協議会へ提案

- ・【8月18日(日)実施】子供たちと三世代、教員や県職員と一緒に、松江堀川の良いところや歴史を学ぶ。
- ・【8月18日(日)実施】子供たちと一緒に松江堀川の清掃活動、外来種駆除活動を行う。
- ・【8月18日(日)実施】水質検査を行う際に堀川と宍道湖の水質を比較する。
- ・【8月18日(日)以降】子供たちと一緒にパンフレットや紹介看板を作成・設置する。
- ・【中長期目標】松江水郷祭や松江水燈路の際に松江堀川をフィールドとして活かす。(プロジェクトマップ、恋人の聖地など)
- ・【長期目標】将来的には、占用緩和(社会実験)や「かわまちづくり」を活用し、川沿いのカフェや写真撮影スポットを設けていく。

良いところ・悪いところ⇒引き伸ばし・改善提案

改良・改修

- ・手を加えて良い箇所をつくる
- ・道路の改良

清掃・浄化活動

- ・松江堀川に水の流れを!
- ・浄化剤(納豆由来)
- ・清掃活動を行う(増やす)
- ・定期的にゴミ拾い
- ・住民とゴミ拾い、水草・藻の回収

イベント・映えるスポットの整備

- ・若い人向けのイベント(ライトアップ・出店)
- ・宍道湖の夕日スポットのような場所
- ・ここで写真を撮れば幸せになれるスポットをつくる
- ・川の畔に景色の良いカフェをつくる
- ・プロジェクトマップ
- ・サップ、カヌーイベント
- ・水郷祭と協同、同時進行でイベントを開催する(祭りまでに暇な人を慮にする、県外の人もいるのでPRになる)
- ・スポーツイベント、遊び(生き物を怖がらせない程度で)

- ・堀川の歴史や凄さを書いた看板を良いところへ設ける(堀川ベタ褒め策)
- ・「松江堀川」のパンフレット作成
- ・松江城内の人が集まる場所で堀川の魅力アピールできる物を設置
- ・堀川PR活動
- ・芸人やYouTuberとコラボ
- ・水上タクシーの運行

看板・パンフレットで魅力PR

環境改善と親水化

- ・ベンチ設置
- ・遊覧船ルートの川底は一部張コンしてでも水草・藻を抑える
- ・白砂化(海岸浚渫砂の流用)
- ・観光ルートから離れたところに親水重視のエリアをつくる

子供たちや世代を超えた県民との協働

- ・三世代で歴史を学び合う
- ・カマキリ先生の堀川バージョンで子供たちの関心を高める
- ・子供たちにイベント案を出してもらう
- ・小中学生によるポイ捨てダメの呼びかけ
- ・職員+小学生で外来種を捕る

占用緩和・占用公募

- ・広告板公募
- ・占用公募
- ・自由には入れるよう手続きを無くす
- ・釣り場所をつくる(増やす)

良いところ・希望点

城下町の中の堀川

- ・城下町ならではの観光上大事な川
- ・松江城が見える
- ・城下町としての歴史がある
- ・松江城周辺の景観としての楽しみ
- ・松江城とともに観光資源
- ・水辺が観光ルート（塩見縄手）
- ・歩いていて気持ちが良い
- ・昔のものがまんまある
- ・松江ではメジャーな観光地
- ・県外の人も来る

季節や景観を活かしたイベント

- ・カヌー
- ・水燈路等イベントの場所として活用できる
- ・プロジェクションマッピング
- ・歴史的景観を感じながらの食事
- ・インスタ映え
- ・四季それぞれの良さ、季節限定
- ・コラボ
- ・デートスポット
- ・景観が良い
- ・観光地としてもっと呼び込みたい
- ・遊覧船が走っている

多様な自然・生物環境

- ・魚が泳いでいるところが見える
- ・生き物がいっぱい
- ・生き物が多い
- ・野生メダカの学校
- ・汽水の堀川としてPRできる
- ・色々なところにつながっている

堀川と治水

- ・水位を調整しているので安全、洪水となりにくい

堀川と人・まちの距離

- ・人目が多い
- ・家、道路が近く市民が親しみやすい
- ・都会の中
- ・地価が高い

憩いの場としての堀川

- ・休める場所がほしい
- ・ゴミ箱が必要？

教育・研究と堀川

- ・教育（歴史・自然）
- ・研究対象（大学など）
- ・藻を集めて有機栽培する

悪いところ・欠点

- ・水草で水面が見えない
- ・くさい
- ・夏場は臭う
- ・水がよどんでいて汚い
- ・水草や藻がいっぱい汚い
- ・水草が多く透明であってもきれいに見えにくい
- ・ゴミが落ちている、ゴミが多い
- ・落ち葉が多い
- ・汚れに見える
- ・流れが無い

きたない堀川

- ・内堀川、西堀川、四十間堀川以外はマイナーなイメージ（堀川という認識が高い）
- ・遊覧船からのぞいたら暗いイメージ
- ・有名なの？
- ・ゴミが多いのか？
- ・すごさ、良さをあまり知らない
- ・いったいどこを流れているのか？
- ・『松江堀川』としてしか知られてない

知られていない堀川

- ・色々見るには歩くしかできない（車とめられない、金かかる）
- ・『見るだけ』が多い
- ・インパクトが無い、ぱっとしない
- ・アトラクション感がほしい

堀川に足りないインパクト

遊覧船の魅力アップ

- ・遊覧船の客層はどこ？
- ・遊覧船が渋い、高い（若い人向けではない）
- ・遊覧船はどこから乗るの？

占用が少ない…活かされてない？

- ・占用が遊覧船（協会）だけ
- ・占用料が安い

望ましくない生態系

- ・外来種おらんくない？
- ・変な動物おる
- ・外来種が増えている

手続きの煩雑さ

- ・文化財に指定されすぎ
- ・手続きが多い

- ・落ち着いて休める場所が少ない
- ・ベンチとかある？
- ・デートでは行かない

近づきにくい堀川

- ・水位を下げてくれない
- ・簡単に入れない
- ・親水エリア、水に近づけるエリアが少ない
- ・家、道路が近く、イベント等が出来るスペースに限られる
- ・多自然でない
- ・釣り出来ない

親しみにくい堀川

堀川の危険な一面

- ・道が狭い
- ・夜が暗すぎて怖い
- ・落ちそうになる

「汽水の松江堀川」魅力アップ協議会を踏まえた 松江県土若手ワーキンググループ

1. ワーキングの目的

- **河川環境の回復・保全のために、県民と協働、望ましい河川環境を啓発し、県民の課題意識を高めるためにすべきことを考える。**
- **考えたことを継続するために、松江県土整備事務所として何ができるか？**
 - ・ 1997年(平成9年)河川法が改正され、河川環境(河川環境の整備と保全)が目的の規定に追加
 - ・ 河川環境の維持・改善といっても幅が広い!
 - ・ 川については全国でも珍しい汽水のお堀である松江堀川、環境面については、生態系の回復、望ましい河川環境の実現を目的に、まずは、平成27年度から『汽水の松江堀川』の外来生物に着目
 - ・ 『汽水の松江堀川』の環境の維持・改善および魅力アップのため、平成27年度から『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会を行政、漁業、環境関係者で組織
 - ・ 緊急対策外来種であるミシシッピアカミミガメの捕獲調査や水草異状繁茂の原因特定のための水質調査を行い、アカミミガメの減少が確認できるなど一定の成果をあげてきた。

2. ワーキングの流れ

第1回目(6月19日(水))

座学により基礎知識を習得(所要1時間)

河川法の目的(治水と利水だけじゃない?)

実は凄い松江堀川(宍道湖から導水?、汽水のお堀?)

外来生物とその問題点

第2回目(6月24日(月))

ワークショップ(ブレインストーミング)

親しみやすい川、どんな川が良い?

松江堀川の良いところ、改善したほうがよいところ

そのために、行政、県民、NPOなどは何をする?

第3回目(7月8日(月))

まとめ

県民との協働啓発活動に向けて(啓発イベントへつなげる)

8月18日(日)

千鳥のお堀を学ぶ会(県民(PTA))との協働啓発活動の実施

3. ワーキンググループ参加者

島根県松江県土整備事務所

業務部

契約業務課

恩田 宙

用地部

用地第二課

岩本 遥

維持管理部

管理課

伊藤 匠

小笠原 有希

維持第一課

今岡 明信

土木工務部

都市整備課

高橋 英和

前島 海斗

土木工務第三課

杉谷 亮太

島根県河川課

企画調査グループ

池田 悠大

4. 各回の内容紹介

第1回目（6月19日(水)）

まずは河川法から！

- ・ 河川法の目的（第一条）
 - 【治水】洪水・高潮等による災害の発生の防止
 - 【利水】河川が適正に利用され、流水の正常な機能の維持
 - 【環境】河川環境の整備と保全
- ・ ・ ・これを総合的に管理、国土の保全と開発に寄与、公共の福祉を保全、公共の福祉を増進

・じゃあ私たちは何をしてきたか？、今、私たちは何をしているか？

- ・ 治水・・・河川改修工事、ダム、堆積土砂除去、河川内樹木伐採
- ・ 利水・・・上水道、発電、農業用水、水面利用（船、ボート、浮き桟橋）
- ・ 環境・・・1997年(平成9年)河川法改正

【河川環境：河川環境の整備と保全】が目的規定に追加

⇒【治水】、【利水】はこれまで河川管理者として行ってきたし、今も行っている。

【環境】については、

法の目的に謳われてきたが、これまでも今現在も不十分なのが実態

河川管理者だけで行うことも治水・利水を優先せざるを得ない状況のもとでは限界

実は凄い！？松江堀川

- ・ **松江堀川には、宍道湖よりも大きいシジミやアカエイがいる？**
- ・ 全国でも珍しい汽水のお堀
- ・ 宍道湖からの導水

堀川の河川環境問題

・そんなに凄い松江堀川、でも問題が！？

- ・ 生態系（外来生物の移入・増加）
- ・ 水質（水草・藻の繁茂に影響？）

第2回目（6月24日(月)）

今日のワーキングの目的

- ・ 松江堀川の良いところ、改善したほうがよいところの「ブレインストーミング」で出し合う。
- ・ それをもとに改善策を「ブレインストーミング」し、改善策を導き出そう！
- ・ **視点は、県民と一緒に改善するには！**
- ・ **行政(県、市)、県民、漁業、NPO、観光、文化財、廃棄物担当 等は何をする？**

松江堀川についてのワークショップ

- ① 松江堀川の良いところ、改善したほうがよいところのブレインストーミング
(ふせんに、松江堀川の『良いところ』、『改善したほうがよいところ』を書いて出し合う⇒ホワイトボードに貼り、グループ分け)
 - ・・・良いところ、改善したほうがよいところのまとめ
- ② ①をもとに改善策のブレインストーミング
視点は、県民と一緒に改善するには！行政(県、市)、県民、NPO等は何をする？
(ふせんに、『改善策』を書いて出し合う⇒ホワイトボードに貼り、グループ分け)
 - ・・・改善策のまとめ

第3回目（7月8日(月)）

今日のワーキングの目的

- ・ **ブレインストーミングで出し合った改善策を県民との協働活動へ具体化する！**

県民との協働活動についてのワークショップ

視点は、県民と一緒に改善するには！、小中学生と何が出来るか？

(第2回ブレインストーミングのまとめ(案)を見て補完し合う。)

- ・・・具体策のまとめ、私たちができること

まとめ

⇒『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会へ提言します！

参加いただき、ありがとうございました！今後の業務にも活かしてください！

ブレインストーミング (Brain Storming) (ブレスト)

- ・ 他人同士の頭脳 (Brain) を嵐 (Storm) のようにかき混ぜるようなイメージのアイデアの発想方法
- ・ 集団でアイデアを出し合うことで、一人では考えつかない発想を組み合わせ、斬新なアイデアが生まれることを期待した会議手法、問題解決の場でも使われる。

ブレストの4つのルール

- ①批判しない。
- ②自由に発言 (当たり前のこと、ぶっ飛んだことでも OK!)
- ③質よりも量を重視
- ④アイデア同士を結合
(便乗しても OK!、『そうじゃなくて』などの批判は NG!)

何について会議するか? (会議テーマ、目的)

河川環境の改善、県民 (子供～お年寄りまで) と協働

※ ひとりで完全なアイデアを考える必要は無し

※ 深く考えず思いついたこと (単語でも OK!) を書き出す。

※ 自分の好きなことや得意分野の視点から考える・・・他の人とは違うアイデアが思いつきやすくなる。

第1回目ワーキング

- ・ 希望点列挙法・・・理想を追求することで自由なアイデアを出す (堀川の良いところ、もっとこうだったら良いのにといった点)
- ・ 欠点列挙法・・・クレマーになったつもりで徹底的に粗探しする。 (堀川の欠点や不満な点)

第2回目ワーキング

希望点列挙、欠点列挙で出した点をグループ分けし、名前付け
グループ分けを見ながら、改善できそうなアイデアを付箋に書いていく。

第3回目ワーキング 事務局はフレームワークを行う、KJ法でまとめる。

- ・ テーマに関するアイデアを小さなカードに書き出して並べる。
- ・ 似た内容のカードをグループ分けし、名前付け
- ・ グループが10個以上できた場合は、さらに大きなグループとしてまとめて名前付け
- ・ 関連性があるグループ同士は近くなるよう並べ替え
- ・ グループ同士の関係性を線や矢印、記号を使って図解化
- ・ 図解化したアイデアを文章化